



つなぐ

第1号

2010/7/15変更
地域医療連携室

ごあいさつ

初夏の候、みなさんお元気ですか？暑かったり寒かったり、体調管理が難しい季節ですね。4月に地域医療準備室から地域医療連携室に生まれ変わり、2カ月がたちました。みなさんに助けをいただきながら、日々奮闘しております。いろいろと迷惑おかけしますが、何かありましたら直接ご連絡ください。みなさんのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

研修会の日時変更になりました

テーマ 「廃用症候群」

日時：平成 22 年 9 月 21 日（火） 午後 18 時 30 分～
会場：気仙沼市立病院 4階会議室

プログラム

1. 「廃用症候群とは」

講師 気仙沼市立病院 副院長 地域医療連携室長 横田 憲一

2. 「廃用症候群とリハビリ」

講師 気仙沼市立病院 理学療法士 中谷 ひろみ

*テーマ等変更時お知らせします

多くのご参加を地域医療連携室一同、お待ちしております！



室長
横田 憲一



チームリーダー
阿部 孝子



看護師
及川 三千代



事務
菅野 順子



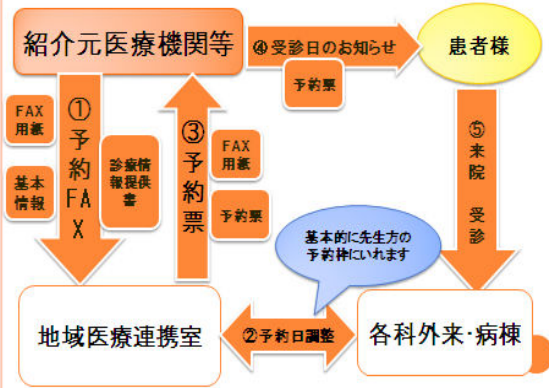
相談室長
斎藤 千春



相談室補佐
佐藤 洋美

今、このように地域医療連携室では仕事をしています！（前方支援）

紹介患者様受け入れの流れ



①紹介元医療機関から、連携室に紹介患者様の診療情報提供書がFAXで届きます。

②各外来へ予約をいれます。

③紹介元医療機関へ予約票をFAXします。FAX送信後電話で、直接外来窓口に来るよう患者様に話していただくことをお願いしています。

④紹介元医療機関から患者様は予約票を受け取ります。

⑤受診日当日、紹介患者様は直接外来窓口へ行き、予約票(紹介状・保険証)を提出し、診察を待ちます。新患受付は不要です。

* 受診報告書をFAXし、受診されたことを紹介元医療機関へ伝えます。

<メリット>

・待ち時間が少なくて済みます。

・事前に情報提供されているので、診察がスムーズに行われます。

<デメリット>

・当日の診察状況や急患等の対応のため、待ち時間が長くなる場合があります。

これまでの活動報告

<前方支援>

	22年4月	22年5月	22年6月
業務総数	137	408	562
紹介受け入れ	46	217	277
他院への紹介	52	104	113
その他	39	87	172

紹介受け入れの15%程が地域連携室を通しての紹介となっております

<後方支援>

	22年4月	22年5月	22年6月	
退院支援者延べ人数	183	211	274	
1日平均患者数	10	10.1	12.45	
相談者内訳	本人	48	36	68
	家族	48	45	75
	院内スタッフ	54	71	94
	関係機関	85	63	101
退院時合同カンファレンス	2	10	15	

月毎に見て、相談数が多くなっていることから、連携室の役割が認知されつつあり、連携が進んでいると考えられます。

退院支援患者総数(4月から7月1日現在) 117名

退院患者内訳	在宅	施設	転院	死亡
(81名)	43	20	8	10

みなさんに協力をもらいながら頑張っていきます (n_n)!!

あんなことこんなこと

* 二重カルテ事件

患者さまは総合受付でカルテを作って下さいました。ありがとう!!...

でも予約カルテを作るのは私たちの地連の仕事なの。お願い奪わないでえ~(>_<:)

* 情報提供はこれだけでいいんじゃない?!

情報提供書はFAX1枚でOK!

紹介する先生の手間が省けますよ。同じものを封書に入れて下さいね。

* 地域の先生方から“連携室ができて助かるよ”

嬉しい! その一言で、私たち頑張れます!!

